



## 2019-2020年度 主題

国際会長： Jennifer Jones 「より良い明日のために今日を築く」  
 アジア太平洋地域会長： “Action!”  
 田中 博之（東京多摩みなみ）  
 東日本区理事： 山田 敏明（十勝） 「勇気ある変革、愛ある行動！」  
 湘南・沖縄部長： 森田 幸二郎（沖縄） 「ワイズを社会に広める再構築をする」  
 クラブ会長： 今城 高之 「奉仕する、みんなちがって みんないい」  
 ～まずは隣人から～



## 今月の聖句

「神は、おくびょうの霊ではなく、力と愛と思慮分別の霊をわたしたちにくださったのです。」（Ⅱテモテ1：7）

なおしばらく困難な日々が続きますが、神様より給わる力と愛と分別の霊に満たされて、日々安んじて励むことが出来ますように。

あらゆる人知を超える神様の平和が、皆様の心と体とを復活の主キリスト・イエスによって守ってくださるようお願い申し上げます。

相賀 昇

## 会長の一言

何とかというお笑い芸人の常とう句に「なんてこった!」というのがありました。こんな言葉がぴったりの年度が間もなく終わろうとしています。

先ほど、東日本区の山田理事（十勝クラブ）より電話があり、区の大会の開催ができないため書面による代議員大会を開催する由。お互いに大変ですね、と申し上げたところ、長い歴史の中ではこんなことがあってもいいのでは、というおらかなご返事。広大な牧場で、トラクターを運転しながらのお電話だったよう、流石との思いを持ちました。

We shall overcome!

今城高之

## 《巻頭メッセージ》

岡田 美和

## 「新型コロナウイルス禍」

今、世の中では新型コロナウイルス禍で自粛生活を強いられています。私は買い物と毎日のウォーキングの他、外出はほとんどしていません。

梅の花に続いて桜、ツツジ、バラが咲き、今は木々の若葉が光っています。

シジュウカラがピースピースと啼き、池ではオタマジャクシが元気に遊び、今は蝶々も舞っています。自然はどんどん動いていますが、そんな中、緊急事態宣言のもとでどこか止まった自粛生活を送っています。

自然は美しく優しいですが怖く恐ろしいものです。いつ何が起きるかわからないのです。わが国では津波や台風、豪雨で自然災害の怖さを経験しましたが、この度のコロナ禍では世界に広がる、目に見えないものの恐ろしさを感じます。世界中みんなの命をみんなで守ることが大切です。争っている場合ではありません。このことを強く意識する今日この頃です。外出も仕事も消えた今日、生活に困っている人が増えています。心配なことが多いです。

後期高齢者の私にとってこの自粛生活は、やりたいことを自由にでき、ゆったりと過ごせる時でもあります。例えば、三度の食事時間も時間をかけて考え工夫し料理します。そして献立日記を作っています。また料理に関する新聞の切り抜きなどを料理ノートにまとめています。また、いつも詠みためておいた俳句を整理しています。会えない友とは手紙や電話、メールでの交流も楽しいです。今まで録画しておいた映画などを「岡田映画館」で上映したりしています。仕舞いこんでおいたミシンを取り出しちょっと作業を、。いつもなら忙しくする衣替えも丁寧に楽しく出来ました。などなど。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長が出された日、すごい雷でした。雷光、雷鳴は恐ろしく「コロナウイルスよ おさまってくれ!」と叫んでいるように感じました。そして翌日のウォーキングの時にはこの時期には珍しい素晴らしい雄大な富士山が見られました。「大丈夫! よくなっていく」といっているようでした。新型コロナウイルスの終息を祈りつつ、。

## (4月のデータ)

例会出席	一名	在籍会員数	18名	各種記録	前月	年度累計
メンバー	一名	月間出席者数	一名	使用済み切手	0	0
ビジター	一名	メーキャップ	一名	スマイル	0	25,000円
ゲスト	一名	月間出席率	一%			

## 《報告》

## 最近の東日本区の動きなど

辻 剛

・そろそろ終息していいコロナのに緊急事態宣言は今月末まで延期されました。

つづきクラブの活動は2/末に本例会以降、今日まですべての日程が中止になりました。

東日本区についても情報が不足気味だと思いますので、区の動向について私が承知している範囲内で非公式ではありますが簡単にご報告させていただきます。

・東日本区の活動も「動けない」、「集まらない」という状況の中、6月末までの全ての予定、主なものとしては毎月の常任役員会、第3、4回区役員会、東日本区大会、代議員会、等々これらは集会形式で実施することは中止になりました。

・しかし、いずれにしても日程を消化し次年度に備えなければなりませんので、最小限の事務処理などはテレビ会議（ZOOM、skype、メールなど）を開催し対処しています。常任役員会はメンバーが少人数ということもあり正式なものと同位置付け、物理的、技術的に全員が参加できない第4回役員会（6/5）および年次代議員会（6/末）は「電子採決」の予定とのこと。理事引継ぎ式ははじめですので極く少数の出席者で挙行する方向で検討中とのことですが、日時、場所等は未定の由。このようにして、なんとか次期板村年度へバトンタッチできるように努力をしながら、2020-21年度の第1回区役員会（7/11）の開催にこぎつけるべく検討中との由。なお、5/17には次期板村年度の東日本区準備役員会（zoom）が開催予定と聞いています。その他、常置委員会、事業委員会、Change! 2022推進委員会等々もそれぞれオンライン会議で必要な打ち合わせをしております。

・皆さんのお耳に入れておいたほうが良い情報を、以下簡単にご報告いたします。

①新クラブ設立支援金規則ができました。

エクステンション活動の活性化を図ることを目的に、東日本区内に新クラブを設立した時にスポンサークラブおよび/またはスポンサー部に対してワイズ エクステンションサポート基金（「YES基金」）の一部から、10万円の支援金を支給します。これまでも内規的に同基金から同額が支給されていましたが、今回明文化したものです。

②年次代議員会の承認が大前提ではありますが、次年度前期は、新型コロナウイルスの感染が続き、区の様々な活動は難しいと思われることから、前期の区費徴収を取りやめる方向で検討中とのこと。

・だれもが初めての事ゆえ、施行錯誤の連続ですが、山田敏明理事、山下真書記以下キャビネットの皆さんは大奮闘されています。とくに書記の山下さんはお仕事を持ちながらテレビ会議の日などは、19時から21時近くまで進行役を務め、それから膨大な資料を作成し翌朝には関係者に送信し、出勤するという大変な仕事をこなしておられます。

・このような状況ですが、以上ご報告したように動きはそれなりにあります。しかし必ずしも皆様に情報が十分発信されていないこともあると思います。東日本区、各委員会などから発信されたメール、区報、理事通信、「Change! 2022 ニュース」、などをこまめにチェックされることをお勧めいたします。最低限の情報は得られると思います。

—安全のために、はなれていても、わたしたちは、つながっています—

（東日本区 書記 山下真）

## 《2019-2020年度クラブ活動報告》

以下は、東日本区に提出した活動報告の抜粋です：

\* 創立14年目のクラブは会員17名（内功労会員1名、担当主事1名）で構成されており、8月からは休会中であつた林茂博ワイズの復帰を得て18名となった。

\* これまでの11カ月は、想定もしなかった日々となったことは他のクラブと同様。その中唯一の救いは、クラブ年中行事の「You & I コンサート」が9月28日（土）に成功裏に開催できたこと。クラブの創立5周年記念事業として、大和YMCAの“和輪WAコンサート”にヒントを得て始めた本事業も今年度で9回目を迎えた。協働者である地域の障がい者関連団体、支援して下さる社協との繋がりも一層深まる。毎回チャリラン支援金で開催を支えてくれる横浜

YMCAから多くのスタッフが毎回駆けつけて良き働きをしてくれた。また、湘南・沖縄部のCS支援金、聴衆として参加して下さるワイズの仲間はコンサート開催には欠くことのできない支えとなっている。

\* 部の事情により例年7月の部長公式訪問が11月に延期となり、例年9月の部大会は、年明けの2月末に沖縄で開催することとなったが、結局、部長のご都合が許さず部長訪問は取りやめ、新型コロナウイルス禍によって部大会は中止となった。

\* 10月25日に予定していた恒例の移動例会（バス旅行）は、集中豪雨のためやむなく中止。

\* 毎年2月に開催してきた北YMCAとの交流会、5月に予定していた恒例の富士山例会も、新型（4頁上段へ）

## 北Y便り

横浜北YMCA 館長 鴨下純久



新型コロナウイルスの感染が広がり、日本で初めての緊急事態宣言が発出されてから1ヶ月以上が経過しました。現時点（5/14）では幼稚園や学校も始まらず、横浜YMCAの多くのクラスも休講となっています。しかし、その様な中でも横浜YMCAが運営する保育園・アフタースクール（学童や放課後キッズ）・高齢者事業等、行政の管轄にある事業は休むことなく継続して運営をしています。現在、横浜北YMCAのスタッフ数名が保育園や高齢者施設へ応援スタッフとして出向き、体育指導やグループ遊びなどの役割りを担い、園児や利用者とともに楽しい時間を過ごし、YMCAならではの取り組みを展開しています。

また、オンラインでミーティングなどを開催するためのアプリを活用し、2つの取組みをスタートさせました。一つは、トライアングル（発達障がい支援）クラスをパソコンやタブレットの画面を通して行うクラスです。「画面の前ですごい集中力をみせるメンバーが多くいることに驚きました。」との報告を担当スタッフより受けました。もう一つは、メンバーとのつながりを構築することをねらいとした画面を見ながら双方で取り組

むラジオ体操です。久々に指導者（リーダー）と顔を合わせることで、笑い声がこだまし、数多くの笑顔が輝いていることが印象的でした。

そうは言っても基幹事業である健康教育部門の水泳や体操のクラスは再開できていません。子どもたちから運動する機会が喪失され、人との交わりが少なくなっていることを大変危惧しています。一日も早く日常を取り戻すことができるように願うばかりです。新型コロナウイルスの対応は長期にわたるとも言われています。感染予防対策を万全にしつつ、緊急事態宣言が解除されたら、すぐにクラスを再開し、参加者の皆さんのお力になれるように準備を進めていきたいと思ひます。

励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。

（コリントの信徒への手紙二 13章11節）

## 《Happy Birthday!》

## 《5月のお誕生日》

岡崎さよ子さん（11日）

林 理子さん（20日）

鈴木 茂さん（21日）

※プレゼントは、例会再開後に差し上げますので楽しみに！

## 《ご案内》

湘南・沖縄部エクステンション委員会（辻剛委員長）では、ワイズの様々なグループが関わっている「つながりマスク」プロジェクトを立ち上げ、現在のコロナ禍の中で、地域の人たちへの奉仕の輪を少しでも広げようと呼びかけを行っています。既に、それぞれの場所で「マスク作り」を実施しておられるワイズもおられますが、何かしたいが具体的なアイデアがないなどと思っておら

れる方も大勢おられるのではないのでしょうか。1人で活動を起こすのは容易ではありませんが、皆で手分けすれば様々なことが出来ます。

ご自分も是非参加されたいとお考えの方は、以下のプロジェクト事務局までお尋ねください。

事務局長：古賀健一郎（横浜C）  
Ktk\_8311\_audrey\_joy@drive.ocn.ne.jp

## 《読者からのお便り》

つぎクラブ様

4月号ブリテンと番外編をお送りいただきありがとうございました。

直接お目にかかれぬ時だけに、このような形で皆様とつながっていただけることを本当にうれしく拝見しました。

巻頭に岡崎様のお顔が飛び込んで来て、最後が恭子さんのお誕生カード作り話題とともに身近な方々が次々登場して下さり、楽しく読ませていただきました。

早速に印刷して東山さん達にもお見せしようと思ひています。

「しばらくは離れて暮らすコとロとナ つぎ逢ふ時は君という字に」とはなるほどどうなりました。

皆様もどうぞこの不自由な時を予防に努めお元気にお過ごしくださいますように。

また皆で楽しく集まれる日がきますようにと祈っています。

2020.4.29 みんなの家 中村真知子



※クラブ活動報告概要 (2頁下段より)

コロナ禍により中止となる。

\* 年中行事の一つである宮城県山元町訪問が11月22日に実施され、当クラブの辻、林両ワイズ、つまみクラブの吉本、中村両ワイズと、現地石巻広域クラブの清水ワイズと仙台YMCAの村井総主事が参加。初回から続く「みやま荘」(高齢者施設)と「つばめの杜保育所」を訪問し、折からのお誕生会に参加して歌や手品などで慰問した。な

お、東日本大震災被災地である山元町への訪問を支える活動として、当クラブのTKB (Tsuzuki・Kawai・Baachans) のお仕事会がある。ここ数年、山元町の二施設と福島県南相馬市の保育園に毎月手作りのバースデーカードを送り続けている。

\* 地域の障がい者のグループホーム「すぽーん」における調理ボラ(月2回)と作業場の送迎(週1回)は、現在新型コロナウイルス感染拡大防止により休止中。(完)

《特別寄稿》

—コロナ閑人、閑居して、閑話をなす—  
辻 閑人

<閑話 1>「世界規模の超国家軍隊の創設」(「沈黙の艦隊」第9巻/かわぐちかいじ著/1991年2月23日第1刷発行)

<閑話 2> 疫病【PLAGUE】:“古代では、支配者への戒めとして、罪のない民に広く科された罰であって、有名な免疫王ファラオの例がある。今日われわれが知っている疫病が、やみくもな自然の怒りの偶発的出現であることは幸いだ。”(「悪魔の辞典」アンブローズ・ビーズ著/筒井康隆訳/2002年10月8日第1刷発行)

【注】(古代エジプト18王朝のファラオであるツタンカーメン王の呪いである。この発掘調査の際、王墓の赤壁には『ファラオの墓に触れるものは死が翼に乗って素早く訪れるだろう』という呪いの碑文が刻まれていた。/グーグル検索)

<閑話 3>「ゴルディオンの結び目—複雑な問題の解決には、断固とした意思と、明快で単純で果断に対処するのが、最も有効な方法になる。」(「ギリシャ人の物語 Ⅲ」/塩野七生著/2017年12月15日発行)

<閑話 4>「ホモ・デウス 上・下」:“何千年にもわたって、人々は同じ3つの問題—飢饉と疫病と戦争—で頭がいっぱいでこれらがつねに取り組むべきことのリストの上位を占めていた。しかし、この数十年というもの、すっかり解決されたわけではないものの、理解も制御も不可能な自然の脅威ではなくなり、対処可能な課題にかわった。私たちはもう、これら3つから救ってくれるように、神や聖人に祈る必要はなくなった。もし、私たちが、飢饉と疫病と戦争を抑え込みつつあ

るのなら、何がそれに替わって、人類が取り組むべき課題のリストの上位を占めることになるのか?”(そのとき、われわれはこの世界に何を求め、何のために生きればいいのか?)

(ヘブライ大学教授・歴史学者 ユヴァル・ノア・ハラリ著/柴田裕之訳/2018年9月30日初版発行)

<閑話 5>「歴史学者・ハラリ氏の警告」:“今後10~20年の間に人類が直面する課題を3つ挙げた。核戦争を含む大規模な戦争、地球温暖化、そしてAIなどの「破壊的」な技術革新だ。”(朝日新聞のインタビュー/2019年9月8日)

<閑話 6>「新型コロナウイルス後の世界—この風もやがて去る。だが、今後行う選択が、長年に及ぶ変化を私たちの生活にもたらさう。—人類は選択を迫られている。私たちは不和の道を進むのか、それとも、グローバルな団結の道を選ぶのか?もし不和を選んだら、今回の危機が長引くばかりでなく、将来おそろく、さらに深刻な大惨事を繰り返し招くことにならう。逆に、もしグローバルな団結を選べば、それは新型コロナウイルスにたいする勝利となるだけでなく、21世紀に人類を襲いかねない、未来のあらゆる感染症流行や危機に対しする勝利にもなることだろう。」(ハラリ氏のFinancial Times への寄稿/2020年3月24日)

<閑話 7>「世界中のクラブに対して、貧しい人々、病院、阻害された人々、高齢者、特に、サービスの物理的なシャットダウンによって最も危険にさらされているすべての人々に安全に奉仕し、必要なものを提供し、世話をすることで、社会におけるクラブの役割を再度見直していただくことをお願いいたします。」(ワイズメンズクラブ国際協会・ジェニファー・ジョーンズ会長/2020年3月27日)

~以下次号へ~

たとなの襲てなな余年告だ大討る前ズ拝拝妙拝向るb会▽投くるのとなが様ろいでをはる界しに活防▽  
日のい前い新いかり7にといし会期東が堂なもか。配`Y稿。を貴こ埋々うよ制軽言のにたな動止新  
々大。に掛型。つの月も思にて費の日待でも。つ書信教Mを讀得重ろまな▽う限視えが達。つがが型  
で切謙人かコ台た間か記う歡い。区本ち仲の悪て齋で会C期者なな。る活通見のし。感し人て制叫コ  
しさ虚問る口風予でら載▽迎るの費区遠問。く夫の行のA待のい投一本動常守緩て科じよ々3限ぼロ  
たをには自ナ。定。のの年すと棚。はし共やは婦パわ礼のし皆状稿部誌報でる和。学らうのかされナ  
(編集子) 教生な然と豪は実十通問べの上区。い々はなでソれ拝常たさ況にメも告あ必が政的れと我月れ。感  
えきすの次雨敷施一り活きこげに次▽守りい守コても議いんが頼ン。でれ要進治裏るし慢がる様染  
らる術脅々そ知でケ。動ことを収年ワる。がるんいw員。の続らバこ紙ばがま判付。てが経よ々拡  
れこが威にしれき月昨報と。検め度イ礼礼奇礼に e。ご。ざ。の面。あな断けとい限過うな大